

	いただいた御意見	事務局対応
1	○P. 46～ 数値目標について ※計画案では既に削除した項目 ・数値目標「公的資金を投入している路線の収支率」の設定理由は何か？ ・公的資金の投入を抑制するという趣旨なら公的資金投入量そのものを設定した基本目標 1 と同様の設定でいいはず。 ・利用促進を図るということなら同じく 1 と 3 で掲げている利用者数がより直接的。 ・利用者数を上げないで収支率を上げる方法は、サービスを減らしたり、運賃を上げたり、あるいは人件費を削減したりといった、サービスの供給環境や利便性を悪化させるものばかり。 ・そのような趣旨のため、県計画では「参考値」として目標値とはしない旨が明記されている。	・収支率については、国交省の手引き上「標準指標」となっているため、市計画の目標値とすることを当初検討しておりましたが、次の理由により、目標設定としない方針にします。 ①市計画においては、県計画を上位計画とするため、県計画と趣旨を同じくする。 ②また、公的資金投入額・利用人数のいずれも目標値とするため、収支悪化による公的負担の増大に歯止めをかける指標も、収支改善の基盤となる利用増に向けた指標も設定しており、あえて収支率を指標化する意義が存在しない。 ③県内事業者を対象として収支も含む経営情報を分析する県計画と異なり、市の区域の範囲で事業者の収入や支出を切り分け、収支率を計算することは過大な事務負担となる。
2	○P. 63 重点事業 4-3「時刻表・マップの作成」について ・わかりやすいバスマップ作製は、利用促進においてよい取組と思うが、一点留意すべきは、バス路線や時刻表は結構頻繁に変わることに。 ・計画では路線再編が考えられているし、それ以外にも細かなダイヤ改正などは半年に一度くらいのペースで実施される。 ・バスマップがあつという間に陳腐化する、という事例は全国・県内各地で見られる。 ・したがって「バスマップを作る素材や方法」をきちんと公開したり、共有したりして、修正・再配布が可能な事業にすることができればなお良いかと思う（例えば、バスマップ作製の際に使用した元データや画像ファイル・シェイプファイルをデジタルに保存し、可能なら公開しておく、そもそもデジタルで加工可能な形での作成・公開に的を絞るなど）。 ・印刷して配布する方向に予算を使ってしまうと、たくさん刷って全部配布する前にダイヤが変わり、「古くなってしまったので配っても…」という在庫が部屋の片隅に積みあがることになる。	・バスマップと時刻表は分けて作成し、なるべく不要な在庫品にならないように、Web 公開も考慮しながら進めていきます。